古墳時代

名前

問1　3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）

1. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。
2. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。
3. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。
4. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。

問2　3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）

1. 三国時代
2. 南北朝時代
3. 戦国時代
4. 五代十国時代

問3　古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。
2. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。
3. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。
4. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。

問4　古墳時代の展示において、当時の有力者の墓である古墳の内部に納められた「副葬品」が紹介されています。これらの中で、被葬者の権力や権威を示すとともに、当時の中国大陸との活発な交流を裏付ける代表的な資料として、最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 弥生時代に主に近畿地方を中心に広まり、祭りの道具として使われた青銅器の銅鐸
2. 古墳の墳丘の頂上や周囲に並べられ、聖域を区切る役割を持っていた人や馬の形の埴輪
3. 魔除けや豊かな収穫を祈る儀式に用いられた、縄文時代の土製の人形である土偶
4. 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡

問5　倭の五王の一人である「武」は、中国の南朝の皇帝に上表文（手紙）を送り、自らの祖先がいかにして国土を広げたかを伝えました。この「武」は、日本の歴史上のどの人物であると比定（推定）されていますか。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 中大兄皇子（天智天皇）
2. ワカタケル大王（雄略天皇）
3. 卑弥呼
4. 聖徳太子（厩戸王）

問6　4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。
2. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。
3. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。
4. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。

問7　5世紀中頃に造られた日本最大の面積を誇る大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）の所在地について、日本列島を4つの地域に分けたとき、この古墳が位置する場所を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 中尊寺金色堂などの文化遺産がある、東北地方（岩手県付近）
2. 屋久島などの自然遺産がある、九州地方南端（鹿児島県付近）
3. 富士山が位置する、中部地方（静岡県付近）
4. 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）

問8　大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。
2. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。
3. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。
4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。

問9　4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教公伝など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 魏
2. 百済
3. 高句麗
4. 新羅

問10　5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 金
2. 青銅
3. 鉄
4. 銅

問11　5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）

1. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。
2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。
3. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。
4. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。

問12　古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
2. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況
3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況
4. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況

問13　3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 円墳
2. 前方後円墳
3. 方墳
4. 積石塚

問14　大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 大仙古墳（世界自然遺産）
2. 大仙古墳（世界文化遺産）
3. 箸墓古墳（世界文化遺産）
4. 五色塚古墳（世界文化遺産）

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問2	答え 1 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしました。
問3	答え 2 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。	大仙古墳は古墳時代に造られた日本最大の前方後円墳であり、その周囲には埴輪が並べられました。土偶は縄文時代の遺物であり、古墳の副葬品には銅鏡や鉄剣などの金属器も含まれます。
問4	答え 4 大陸との外交関係や支配者の権威を示すために墓に納められた、三角縁神獣鏡などの銅鏡	古墳時代、古墳に葬られた有力者は自らの権力を示すために、大陸由来の貴重な品々を副葬品として墓の中に納めました。特に三角縁神獣鏡などの銅鏡は、中国の王朝とのつながりや、それを入手できる大和政権との政治的な結びつきを示す重要な象徴でした。埴輪は古墳の表面や周囲に立て並べられるものであり、内部に埋葬される副葬品とは区別して理解する必要があります。
問5	答え 2 ワカタケル大王（雄略天皇）	倭の五王の最後の一人である「武」は、埼玉県で見つかった稲荷山古墳の鉄剣銘などに記された「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」、すなわち雄略天皇であると考えられています。この時期、ヤマト政権の支配範囲が関東から九州にまで及んでいたことが、金石文と中国の歴史書の両方の記述から裏付けられています。
問6	答え 4 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問7	答え 4 百舌鳥・古市古墳群が広がる、近畿地方（大阪府付近）	大仙陵古墳は、現在の大阪府堺市に位置しています。この地域には巨大な古墳が集中しており、2019年には「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。岩手県の平泉や、静岡県の富士山、鹿児島県の屋久島もそれぞれ世界遺産に登録されていますが、古墳時代を象徴するこの巨大古墳は近畿地方に築かれました。
問8	答え 2 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問9	答え 2 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、半島の主導権争いの中で大和政権と友好関係を深めました。この交流を通じて、漢字、儒教、仏教といった高度な大陸文化が日本に導入され、日本の古代国家の形成に大きな影響を与えました。
問10	答え 3 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとっていることからも、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問11	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問12	答え 1 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問13	答え 2 前方後円墳	古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。
問14	答え 2 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺の古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。